

河合塾マナビス茨城県校舎特別企画

2022年度入試 合格者インタビュー ～早期対策編～

目次

東北大学 経済学部 松井颯音さん	・・・ 2
東京工業大学 工学院 成瀬宏亮さん	・・・ 5

※随時更新予定

Interview No.1



松井颯音さん(写真右)
東北大学 経済学部 合格
竹園高校卒業
高1生1月につくば校入会

—マナビスに通って良かったことはなんですか？

家では集中して勉強ができなかったもので、全ての勉強は学校とマナビスでやっていました。その強みが発揮されたと感じているのが、春夏冬の長期休みです。毎日同じ場所・時間で顔なじみのある人たちと勉強していたからこそ、乗り越えられた高い壁だったと思います。また、毎日アドバイザーの方々と話すことが励みになりました。

—学力を上げるために効果的だった講座名とその理由を教えてください。

私大英語読解総合レベル5です。夏前から取り組むことで、その効果を秋・冬に感じることができました。難関私大の英文でトレーニングを積むことは、国立私立関係なく英語力、特に長文読解力がつけられたと思います。

また、私大現代文レベル5も、「論理的に考える」この一言で全20講引っ張られた気がします。本当にそこに尽きると実感しました。文法などの知識が特に求められない票論文は、書いてある通りのことを答えるだけだと教わりました。

ー合格に向かうなかで、アドバイザーやアシスタントアドバイザーはどのような存在でしたか？

アドバイザーの板谷さんは会う時に必ず声をかけてくださりました。また、ちょっとしたことで自分が不安になった時や、成績がついて来なくてストレスが溜まった時でも、冷静に客観的なアドバイスをくださりました。

また、アシスタントアドバイザーの原さんは僕の中でここ1・2年のマナビスの番人のイメージでした。一時期には原Weekと呼べるほど出勤していらっしやったと思います。とても安心感がありました。

—最後にこれから受験を迎える高校生にメッセージをお願いします！

受験というのは、最後まで何が起こるかわからないものだなと思いました。今年の場合は共通テストの大幅な平均点の低下だったり、それに伴った私大の倍率の上昇だったりだと思います。最後は運です。でもそれに立ち向かおうとする勇気と自信を与えてくれるのは、それまで頑張ってきたという自分の努力と経験しかないなと思いました。

Interview No.2



成瀬宏亮さん(写真右)
東京工業大学 工学院 合格
並木中等教育学校卒業
高1生4月につくば校入会

ーマナビスに通って良かったことはなんですか？

元々あまり勉強しない性格だったのですが、高1のころからマナビスに通うことで、勉強習慣をつけることができました。また、映像授業は倍速することができるので、自分の理解度に応じて速くすることで、効率的に多くの内容を学ぶことができ、とても便利でした。

ー学力を上げるために効果的だった講座名とその理由を教えてください。

東工大物理です。入試では解答の流れを記述する必要がありますが、この講座では自分の解答を添削してもらえました。部分点の付き方や記述の方法を学ぶことができ、とても有用でした。

また、総合数学ⅠAⅡBレベル5も良かったです。理系数学では、数Ⅲが重視されることが多く、ⅠAⅡBは盲点になりやすいです。私も確率が苦手だったのですが、この講座では質の良い確率の問題に触れ、力をつけることができました。

ー合格に向かうなかで、アドバイザーやアシスタントアドバイザーはどのような存在でしたか？

入会した当初は志望校が全く決まっていなかったのですが、アドバイザーの板谷さんに様々な大学のデータを見せてもらったので、はっきり志望校を決めることができました。また、アシスタントアドバイザーの中山さんには「君なら大丈夫だ」という言葉をかけて

いただき、そのおかげで自信を持って受験することができました。

—最後にこれから受験を迎える高校生にメッセージをお願いします！

東工大の総合型選抜は特別な経験が必要な訳ではないので、チャンスを増やす意味ではおすすめです。ただし、共通テストである程度高い点数を取る必要があるので、共通テストの勉強をしっかりとする必要があります。面接に自信があるならば、挑戦してみてもいいのではないでしょうか。

ありがとうございました！

今後も高校入学直後からマナビスにお通いいただき、受験を乗り越えた卒業生のインタビュー掲載を予定しております。